

この本に出てくるかつちやんは不思議な人です。「けんかなんかすると胸がいたくなるからね」と誰にでも優しく、草を歌をきいておどつたり寝ねをするよ」と草にも花にも同じ命があるというような詩を書きます。かつちやんといふと、なんだか心が温かくなり次の元気が出でるそうです。私もこの本を読んでどこがどうだか分らないけど心がほんわか温かくなりました。

かつちやんは知的の障害を持つてます。普通の人より三ヶ月早く生まれて発達もおそくめまいやマヒがあります。私は障害者と聞くと、何もできなくてまわりの人に手伝つてもらつて生活している人のことが頭に浮かんできます。で



「ぼく、とうふやの 営業部長です」を読んで

★ 小学校高学年部
黒崎小学校六年 角 地 まどかさん

もかつちやんを知つてそんなイメージは吹つとびました。かつちやんは夜間中学校で字などを学び、お母さんの手伝いをしています。私が何よりもかつちやんをすごいと思つたのは、かつちやんの温か

さです。どんなにすごい人でもかつちやんの心の広さ、優しさには、負けると思います。

ボランティアにきていた大森さんがかつちやんにこんなことを聞きました。「かつちやん、どうしました」「かつちやん、どうし

たのいやだからね」とかつちやんは答えました。はつきりどんな人も好きになるよと言えることがかつちやんのすごいところだと思ひます。私はどんな人でも好きになります。けじやないし、けんかもします。

いじわるをされたらいじわる仕返ししたくなります。そう思つてしまふのはしようがないことだと思つていました。でもこの本を読んで自分の気持ちを友達におしつける前に、相手のことをよく考えることができます。それがやりたいと感じました。

私は、この本でかつちやんに会えて本当によかったですと思います。勉強ができる、運動ができるということより、いつもでも誰にでも優しい気持ちを持つことができます。人こそ強い人だと思いました。

そんなことに気付かせてくれたかつちやんにお礼が言いたいです。

たら人に優しくなれると思う?」と言うと、「さあ、ぼくはね。人の好き嫌いがないのよ。どんな人でも好きになるよ。けんかはない。けんかしたり怒つたりすると、胸がいたくなるでしょ。そん

たのは「心の温かさ」です。すぐには、かつちやんにおいつけなけど、かつちやんのように、いつもでも笑顔でいたいと思います。「笑顔は元気のもと」と言います。笑顔でいたら、自分も楽しいし、まわりの人も一緒に楽しい気持ちになると思います。

私は、この本でかつちやんに会えて本当によかったですと思います。勉強ができる、運動ができるということより、いつもでも誰にでも優しい気持ちを持つことができます。人こそ強い人だと思いました。そんなことに気付かせてくれたかつちやんありがとうございました。〔原文のまま〕(※まどかさんは現在中学一年に進級しています)



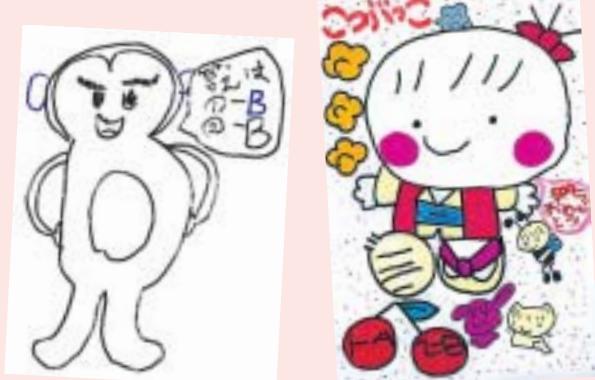
源田 晴菜さん
(中央区・9歳)

赤坂 真彦くん
(白井・9歳)

嘉藤 瑞紀さん
(中央区・6歳)



中花 成くん(白井・7歳)



畠山 雄撃くん
(盛岡市・9歳)

熊谷 久美恵さん
(盛岡市・4歳)



上方 さくらさん(堀内・5歳)

♣応募総数:十四通で十人が正解でした。次の人間に図書券を送ります。

①—B ②—B
③ 源田晴菜さん(中央区・9歳)
④ 龍也くん(黒崎・4歳)
⑤ 森田眞奈子さん(同・6歳)
⑥ 二又冴夏さん(白井・12歳)
⑦ 中田千翔さん(同・11歳)

♦締め切り:一月五日(木)
当日消印有効
♦十二月号の答え:
①—B ②—B
③ 源田晴菜さん(中央区・9歳)
④ 龍也くん(黒崎・4歳)
⑤ 嘉藤瑞紀さん(同・6歳)
⑥ 二又冴夏さん(白井・12歳)
⑦ 中田千翔さん(同・11歳)